

## 第72回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第72回日本体力医学会大会は以下のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS) NO.6」一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、学会の最新情報は第72回大会ホームページ（<http://tairyoku72.jp>）をご覧ください。

### 記

1. 会 期：平成29年9月16日(土)，17日(日)，18日(月)
2. 会 場：松山大学（愛媛県松山市文京町4-2）
3. 大 会 長：三浦 裕正（愛媛大学医学部附属病院長）
4. 大会事務局：愛媛大学 社会共創学部  
第72回日本体力医学会大会事務局  
事務局長：山本 直史  
〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番  
TEL：089-927-9473 FAX：089-927-9473  
E-mail：yamamoto.naofumi.mk@ehime-u.ac.jp  
運営事務局：〒020-0857 盛岡市北飯岡1-5-5  
有限会社 ヤマダプランニング  
担当：八重畑 茂  
TEL：019-635-6011 FAX：019-635-6033  
E-mail：tairyoku72@yamada-planning.co.jp
5. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 特別講演
  - (3) 教育講演
  - (4) シンポジウム
  - (5) 国際セッション
  - (6) ワークショップ
  - (7) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
  - (8) 学会賞受賞講演
  - (9) ランチョンセミナー
  - (10) 県民・市民公開講座
  - (11) 持久走大会
  - (12) その他

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

## 2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

平成29年4月3日(月)～7月27日(木) 正午まで

### (2) 事前登録方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第72回学会大会ホームページ：<http://tairyoku72.jp>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意下さい。

### (3) 事前登録の参加費支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、のいずれかの方法でお支払い下さい。

### (4) 当日登録方法

事前登録をされていない会員、非会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

## 国際セッションの演題募集のお知らせ

日本体力医学会では、ヨーロッパスポーツ科学学会（European College of Sport Science, ECSS）をはじめとする海外の学会との相互交流を促進し、学会員の学術レベルを高めることを目的として、若手研究者を中心とした交流事業を平成11年度より実施しております。

今大会でも日本と海外の研究者の参加による「国際セッション」を開催いたします。発表形式は約15分～20分（質疑応答を含む）の口演の予定で、使用言語は英語です。発表を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

45歳以下の日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 抄録作成要項

抄録は英文3,000文字以内（タイトルと演者、共同演者名、所属機関名は含めませんが、スペースは含みます）とし、Microsoft Wordで作成して下さい。図表は使用せず、参考文献は抄録の最後に記載して下さい。

#### 2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、m.miyashita@waseda.jp宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

#### 3. 締め切り

**平成29年5月26日(金) 正午まで**

### 【連絡先】

〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

早稲田大学 スポーツ科学学術院

日本体力医学会国際セッション係

担当：宮下 政司

E-mail：m.miyashita@waseda.jp

TEL/FAX：04-2947-6774

### 【選考方法】

日本体力医学会渉外委員会で審査し、応募演題の中から原則として3演題を選出いたします。

### 【結果通知】

選考結果は直接本人に通知いたします。

# 演題応募方法

## 【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

### ●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル 4階 学会支援機構内

Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jpsfsm@asas.or.jp

## 【登録方法】

演題登録開始：平成29年4月3日(月) 正午から

締切：平成29年5月20日(土) 正午まで

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上で演題応募のタブをクリックし、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFSM NO.6」掲載用抄録の登録に必要なになりますので忘れることのないようご注意ください。

大会ホームページURL：<http://tairyoku72.jp>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFSM NO.6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFSM NO.6」の掲載用抄録の登録期間

開始 平成29年8月上旬（採択通知到着後から）

締切 平成29年9月29日(金) 正午まで

締切を過ぎると「JPFSM NO.6」への抄録の掲載ができません。

## 【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。  
登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

## 平成28年に査読をお願いした先生方は次の方々です

足立 稔	加藤 孝基	杉田 正明	松尾 知之
安藤 大輔	彼末 一之	鈴木 宏哉	松下 宗洋
家光 素行	川上 諒子	鈴木 政登	水口 暢章
伊賀瀬 道也	川口 浩太郎	清野 諭	宮地 元彦
井田 博史	川村 卓	曾我部 夏子	宮西 智久
稲垣 敦	丸藤 祐子	高井 洋平	宮本 忠吉
今井 一博	木越 清信	高橋 佳三	村田 伸
植木 章三	北濃 成樹	田中 千晶	百崎 良
宇高 潤	北畠 義典	辻 大士	門間 陽樹
大藏 倫博	久保 啓太郎	辻本 健彦	山口 太一
大島 秀武	小池 関也	寺田 新	山代 幸哉
太田 めぐみ	上月 正博	中田 大貴	山田 陽介
大森 一伸	神野 宏司	中谷 敏昭	山田 実
大森 豪	国分 貴徳	西嶋 尚彦	吉川 貴仁
小笠原 一生	小西 真人	藤澤 宏幸	若山 章信
小笠原 理紀	小松 泰喜	古川 順光	和坂 俊昭
尾縣 貢	齋藤 健治	星川 佳広	
岡本 孝信	真田 樹義	松尾 真吾	

70名 (五十音順, 敬称略)

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年9月）議事録

日時：2016年9月22日(木) 午後5時30分～7時00分

場所：いわて県情報交流センター（アイーナ）5F  
会議室501

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、  
甲斐裕子、小野寺昇、勝村俊仁、栗原 敏、  
後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、  
竹森 重、武政 徹、田中喜代次、田畑 泉、  
内藤久士、成田和穂、西牟田守、能勢 博、  
浜岡隆文、宮地元彦、山内秀樹（各理事）、  
井上 茂、清田 寛、小林康孝（各監事）、  
立身政信（第71回大会長・岩手）、  
尾形直則（第72回大会長代理・愛媛）、  
山田孝禎（第73回大会長・福井）

欠席者：川原 貴（理事）、定本朋子（監事）

はじめに第71回（岩手）大会の立身政信大会長より、  
ご挨拶をいただいた。

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会開催中に議事録（案）の内容確認を行った。  
前回議事録の「5. 平成29年度事業見直しについて  
④学会本大会への補助金削減案について」より、茨城  
大会より補助金を200万円に減額することが、理事会  
で承認されていたが、総務委員長から茨城大会開催関  
係者に打診する際に300万円を補助することを前提に  
交渉していたため、補助金の減額については2020年  
の鹿児島大会より施行したく、議事録を下記の如く変  
更したい旨、理事長より打診され、了承された。その為、  
8月26日開催の理事会議事録が下記のように変更と  
なった。

（変更前）2019年（茨城）開催の学会大会から200万円  
に減額することが承認された。

（変更後）2020年（鹿児島）開催の学会大会から200万  
円に減額することが承認された。

訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理  
事会終了後に承認とすることとした。

#### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請  
者10名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 3. 平成28年度「食育健康サミット」の開催に関わる後援名義の使用許可について（鈴木理事長）

資料に基づき、米穀安定供給確保支援機構から平成  
28年度食育健康サミットに後援名義の使用許可依頼が  
届いたと報告があり、審議の結果、後援名義を許可す  
ることが承認された。

#### 4. 平成28年度会計報告（決算）に関する件について（勝村財務委員長）

資料に基づき、前回の理事会で報告した内容から、

以下の点で修正が入ったと報告があり、審議の結果、  
承認された。

- ・第70回和歌山大会の大会開催収支について、総収入が38,007,558円から37,950,696円に、総支出が38,007,558円から37,899,558円に修正した。
- ・論文掲載料等収入と、広告収入に本部の未収入分を計上した。
- ・東海地方会の総収入が1,846,835円から1,907,063円に、総支出が2,156,847円から1,907,063円に修正した。
- ・関東地方会の前年度繰越金に計上されていた額を、地方会基金繰入支出に科目変更した。

#### 5. 平成29年度会計報告（予算）に関する件について（鈴木理事長）

平成28年度収支計算書によれば平成28年度収入  
決算額小計は100,496,224円であり、支出決算額小計  
89,797,010円で当年度収支差額は+10,699,214円と  
なった。しかし、収入には別途積立金取り崩し収入  
12,128,193円が含まれているので、純不足額は1,428,979  
円（=12,128,193-10,699,214円）ということになる。  
そこで、①プロジェクト研究の廃止（2019年度以降  
年300万円削減）、②会員名簿のOnline化による削減  
（2017年度から158万円削減）、③体力医学会地方会へ  
の補助金削減（2017年8月1日以降施行120万円削減）、  
④年次学会大会補助金削減（2020年度大会から  
100万円削減）となり、以上4つの事業の合計削減額  
総額は6,780,000円となる。未だ純不足額1,428,979円に  
は到っていないので、今後年会費増額、論文投稿料の  
有料化、入会費徴収など収入増対策も考慮しなければ  
ならない旨報告された。上記4つの理事長提案の事業  
削減案が了承されたことに基づいて勝村財務委員長より  
平成29年度予算案の報告があり、評議員会兼社員総  
会で諮ることとした。

渉外委員長より、評議員会兼社員総会にて、海外交  
流準備金と国際交流事業経費の科目をまとめ、国内  
外交流費に名称を変更する事と、備考欄の「FIMS、  
AFSM等出張費」は削除することが承認された。

#### 6. 平成29年度理事会開催日程について（鈴木理事長）

今後の理事会日程案が資料として提出され、以下の  
通り2017年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2016年11月18日(金)
- ・2017年2月17日(金)
- ・2017年5月19日(金)
- ・2017年8月25日(金)
- ・2017年9月15日(金) ※第72回愛媛大会前日

#### 7. その他

鈴木理事長より、年次大会参加申し込み時に年度会  
費未納者のチェックをすべきではないか、との提案が  
あった。今年の退会者414名のうち年会費未納による  
自然退会者が228名に上っており、この中には評議員  
や一般講演数題に名前を連ねシンポジストを務めてい  
る会員も見られた。現在、年次大会参加申し込み時に

会員番号を入力すれば参加申し込みできる仕組みとなっており、年会費を数年間支払わなくとも会員番号は剥奪されない。

そこで、提案として、①年次大会参加申し込み時に、大会事務局か学会事務局で年会費支払い未納者のチェックができないか、②年会費を何年間支払わなかったら、会員番号を剥奪するのか、それとも年会費を支払わなくとも永遠に会員番号を付与し続けるのか、③退会届けを提出して退会した場合、即会員番号を削除するのか、もし、外国留学するために退会して帰国後再び入会した場合、会員歴はどうなるのか、等を総務委員会で議論して頂き、来年度の年次学会大会参加申し込み時までに適用したい旨、要請があり、総務委員会で検討することとなった。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

#### 1) 編集委員会 (田中委員長)

予算削減について、和文誌、英文誌のオンライン化を行っていく事が報告された。

非会員の方がオンラインを利用する際に課金を行えるように検討を進めていることが報告された。

#### 2) 渉外委員会 (永富委員長)

①ECSS学術委員長Bente Pedersen教授より2018年ECSSで開催予定のJSPFSM交流シンポジウムを免疫に関連するテーマで開催してはとの打診があり、本学会員に対してシンポジウム提案の公募を行う。

②魅力ある学会にしていけるために、学会大会で「この人の話を聞きたい」と言われる様な国内外の著名な研究者を招聘し、謝金、旅費等のサポートを委員会より行う等の提案が出た。

③Exercise is Medicine (EIM) について、コココーラがスポンサーから外れ、日本では日本臨床運動療学会にEIMの事務局を置く方向で検討が進んでいる。本学会として医学教育に運動を反映させる取り組みについては協力可能であることを確認した。

#### 3) 学術委員会 称号委員会 (碓井委員長)

修了試験過去問題集2016年度版を刊行したと報告された。

#### 4) 倫理委員会 (成田委員長)

①資料に基づき、日本医学会からの倫理提言案についての説明が行われた。提言案について日本医学会に返答を行うことが報告された。

②倫理審査規定の細則案について説明がされた。審査の対象に関しては、人を対象としたもののみを審査規定として扱うことが取り決められたことが報告された。

#### 5) 将来構想検討委員会 (能勢委員長)

委員会で行われた審議事項について以下の通り報告された。

①2020年東京オリンピックに体力医学会も関わっていき、入会者の拡大に繋げていきたいと提案があった。

②日本人特有の運動指針を提出し、その指針に従って行動ができないか提案があった事が伝えられた。

③JPFISMのより一層の充実(競技スポーツの掲載、日本リハビリテーション医学会との連携等)を行えないかとの意見が出て、委員会で検討を進めていることが報告された。

#### 6) 広報委員会 (甲斐委員長)

学会HPの充実について、将来構想検討委員会からの意見をふまえて、外部の方が閲覧し易いようなページの充実等、具体的に打ち合わせを行っていることが報告された。

#### 7) 男女共同参画推進委員会 (田畑委員長)

委員会で行われた審議事項について以下の通り報告された。

①来年の学会大会で女性のライフステージに関わる企画を立ち上げたいという事が報告された。

②学会HPに男女共同参画コーナーの設立を行いたい旨、報告された。

③女性の理事が当選しやすいように制度の見直しを行いたい旨、報告された。

④女性に対する研究賞・奨励賞を、スポンサーを探して立ち上げたいことが伝えられた。

#### 8) 利益相反委員会 (宮地委員長)

「体力科学、JPFISMの投稿規定に掲載する利益相反に関する事項について」の校正が終了したことが報告された。

#### 9) 学術刊行物小委員会 (永富委員長)

有疾患者を対象の教本を作成し、「有疾患者向けのメディカルフィットネス」を題名にすること、内科系と外科系とメンタル系の3つに分けて、少ないページ数で順次刊行していくか、まとめて刊行していくか等の打ち合わせを行っていることが報告された。

### 2. 第72回(愛媛)大会の進捗状況

大会の準備状況等について報告があった。

テーマ：愛顔つなぐ体力医学

会場：愛媛大学城北キャンパス、  
松山大学文京キャンパス

会期：2017年9月16日(土)～18日(月)

### 3. 第73回(福井)大会の進捗状況

大会の準備状況等について報告があった。

会場：AOSSA, ハピリン

会期：2018年9月7日(金)～9日(日)

## 第28回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健康者や生活習慣病罹患患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了解下さい。昨年度は諸事情によりテーピング実習を行いませんでしたが、本年度は実施致します。また、応用コースの2日目最後に「研究計画の作成に関するグループワーク」も新たなプログラムとして追加しました。多数の方のご参加をお待ちしております。

平成28年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内 秀樹 太田 眞 木村 真規 進藤 大典 成田 和穂 湊 久美子 山口 眞紀

### 1. 会 場

東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室など

### 2. 日時および研修内容

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

平成29年6月30日(金)	9:00~10:30	運動と神経・筋
	10:40~12:10	運動と呼吸
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	運動と代謝
	14:50~16:20	運動と栄養
	16:30~18:00	運動と循環
平成29年7月1日(土)	9:00~10:30	運動処方の基礎
	10:40~12:10	高血圧および心血管疾患の運動処方
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	生活習慣病の運動処方
	14:50~16:20	運動器疾患の運動処方
	16:30~18:00	運動による認知症の予防・改善
	18:15~	懇親会（会費3000円、参加自由）

#### (II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、近赤外分光装置を用いた運動時の筋酸素化動態のチェック、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習、研究計画の作成に関するグループワークも行います。



平成29年8月4日(金)	9:00~12:10	運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験, 心電図記録, 筋有酸素能検査, 呼吸機能検査, 体組成測定実習）
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~17:00	救急救命実習（人体模型を用いた実習）
平成29年8月5日(土)	9:00~12:10	運動処方の実際（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し, 実施する） スポーツ傷害に対するテーピング実習
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	スポーツ傷害予防のための筋力トレーニング実習
	14:50~16:20	研究計画の作成に関するグループワーク

注意：講師の都合により講義時間割りを変更する場合がありますのでご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は平成29年8月6日(日) 10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集（正解/解説付）」(税込：2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

### 5. 受講料

受講料は（Ⅰ）基礎コース、（Ⅱ）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F

一般社団法人 学会支援機構内

日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

---

## 第28回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。(該当する□にレ印をつけて下さい。)

第28回 基礎コース

第28回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_

## 第26回日本健康教育学会学術大会（東京）のご案内

第26回日本健康教育学会学術大会を、2017年6月24日(土)～25日(日)に、早稲田大学早稲田キャンパスで開催いたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

学術大会学会長

荒尾 孝（早稲田大学スポーツ科学学術院）

### 1. 演題申し込み日程

一般演題申込期間：2017年2月1日(水)～3月21日(火)

抄録原稿登録締切：2017年4月24日(月) 期限厳守

### 2. 参加費

1) 出題費：2,000円

2) 参加費（講演集代を含む）

正会員 事前登録7,000円, 当日登録8,000円

非会員 事前登録8,000円, 当日登録9,000円

学生（院生・学部生）

事前登録3,000円, 当日登録4,000円

（学生は、学生証（2017年度）の提示が必要です）

3) 講演集代：2,000円

（別途購入希望者には学術大会当日に販売します。）

4) 懇親会費：事前申込6,000円, 当日申込8,000円,

学生会員4,000円

※事前登録時の一括支払いを歓迎します。

### 3. 事前登録

※一般演題の出題者は、必ず事前登録をして下さい。

事前登録は、学術大会ウェブサイト（<http://www.2017-26nkkkg.jp>）で、2017年2月1日(水)から5月19日(金)まで受け付けます。登録方法・支払方法は、上記サイトでご案内します。

2017年5月20日(土)以降は、すべて当日登録および当日参加費となります。

### 4. 第26回日本健康教育学会学術大会 事務局

早稲田大学スポーツ科学学術院 運動疫学研究室内

〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

TEL/FAX：04-2947-6779

E-mail：jshep2017@nta.co.jp

### 5. 第26回日本健康教育学会学術大会運営準備室

（演題申込・事前登録）

（株）プランドウ・ジャパン

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6

大門アーバニスト401

TEL：03-5470-4401 FAX：03-5470-4410

担当者：小幡利也

E-mail：jshep2017@nta.co.jp

## 編 集 後 記

2017年も明けてはや1ヶ月、今年最初の「体力科学」をお届けします（第66巻1号）。本号には岩手大会での指定演題抄録および原著論文3編が掲載されております。指定演題では大会長講演や特別講演をはじめとしてご高名な先生方の貴重な講演内容をご覧頂けます。また原著論文は、跳躍選手の専門的な下肢筋力・パワーの評価、ジュニアアスリートにおける体幹筋断面積の年齢差及び競技種目差、自体重負荷でのスクワットとフロントランジにおける呼吸循環および代謝応答の違いに関する研究であり、体力に関係する広範な研究領域をカバーする体力科学の名に相応しい優れた論文が掲載されました。掲載された論文は、著者、査読者、編集委員による共同作業の結晶です。ご投稿頂いた著者の皆様ならびに査読をご担当頂いた先生方に厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様方には引き続き、体力科学ならびに英文誌JPFISMへのご投稿ならびにサポートをよろしくお願い申し上げます。

皆様ご存知の通り、JPFISMは2012年の創刊以来、Regular Articleとともに数多くの優れたReviewならびにShort Reviewを掲載してきました。また今年度より、Study Protocolという新しい形態の論文も取り扱うようになりました。これらの論文は、皆様方が研究を進められるにあたり、または論文を執筆される際に、有用な情報源になるものと信じております。これらを参考にして関連論文をご執筆される際にはぜひともご引用をお願い

いたします。皆様のご引用ひとつひとつがJPFISMのプレゼンス向上につながります。

さて、この原稿は正月に執筆しています。巷では今年も昨年に続きロシアのプーチン大統領のカレンダーが大人気とのこと。プーチン大統領と言えば、去る12月に11年ぶりに首脳会談のために来日した際には、柔道の総本山である講道館を訪れたことが報道されました。講道館の創設者であり、東京高等師範学校校長を長く務め、「柔道の父」、「体育の父」とも呼ばれる嘉納治五郎をいたく尊敬しているとのことで、彼自身も柔道8段（IFJ）、空手8段、テコンドー9段の腕前とか。また、南シベリアのクイズイル（Kyzul）郊外の川でダイナミックにバタフライで泳ぐ動画がたびたび放映されるなど、大統領として極めて多忙な日々でありながらも、様々なスポーツを趣味として多数実践する姿を見て、自分ごときは忙しいなどとは言ってはられない、と反省しきりです。少々のおせち料理をつまみに麦焼酎を口に運びながら、あらためて自分を見直すと、体重は現役時代よりも15 kgほど増加し、下腹部も随分と立派になりました。そこで、久方ぶりに随意収縮による腹筋トレーニングおよびLTレベルでの有酸素運動を再開しようと心に決めました。もちろん本業に差し障りの無い程度で。

今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

木田 哲夫

---

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.66, No.1

---

#### 体 力 科 学 第 66 巻 第 1 号

平成 29 年 1 月 25 日 印 刷

平成 29 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

田 中 喜 代 次  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
E-mail：jspfsm@asas.or.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120  
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社

---